



2013年度駒場総合科目 人間・環境一般

近未来は変えられるか

2013年4月19日

阿部力也

授業ガイダンス

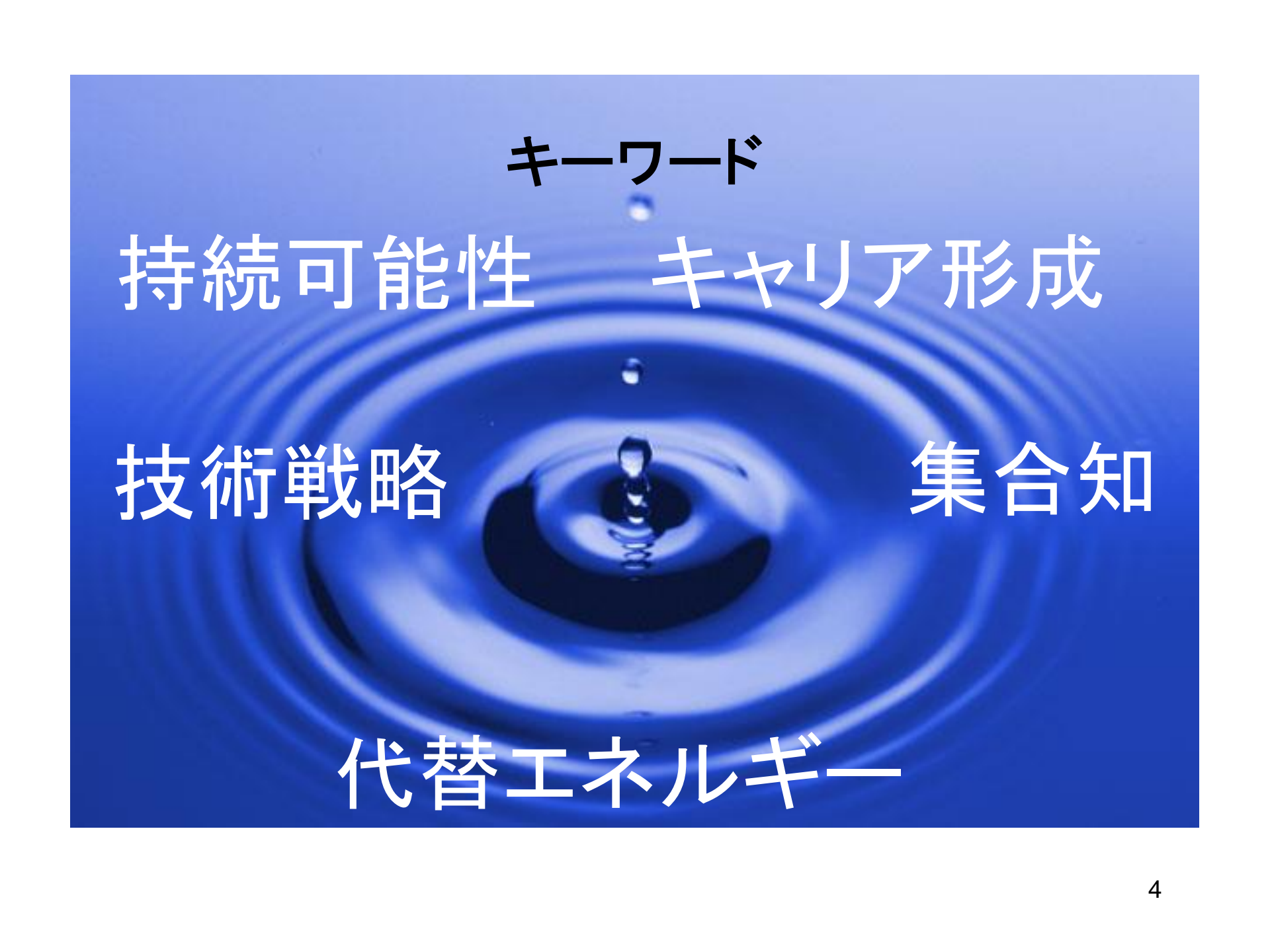
A blue background with a central water droplet creating ripples. The droplet is in the center, and the ripples spread outwards. The text is overlaid on the image.

天災、人災により…

近未来は変わってしまった

講義の概要

環境・資源・エネルギー・食料など、人口爆発に伴う様々な地球規模での制約が顕在化している現代、20世紀のような全てが右肩上がりの指数関数的な発展の継続を想像することは難しい。もし何もしなければ、近未来はどうなりうるのか？何か手を講じることによって、近未来をどのように変えることができるのか？過去にはなく、現在だからこそできることは何か？個々の分野で現代の最先端を担う講師陣が、それぞれの立場から思い描く未来と、そのために取っているアプローチを語ります。



キーワード

持続可能性 キャリア形成

技術戦略 集合知

代替エネルギー

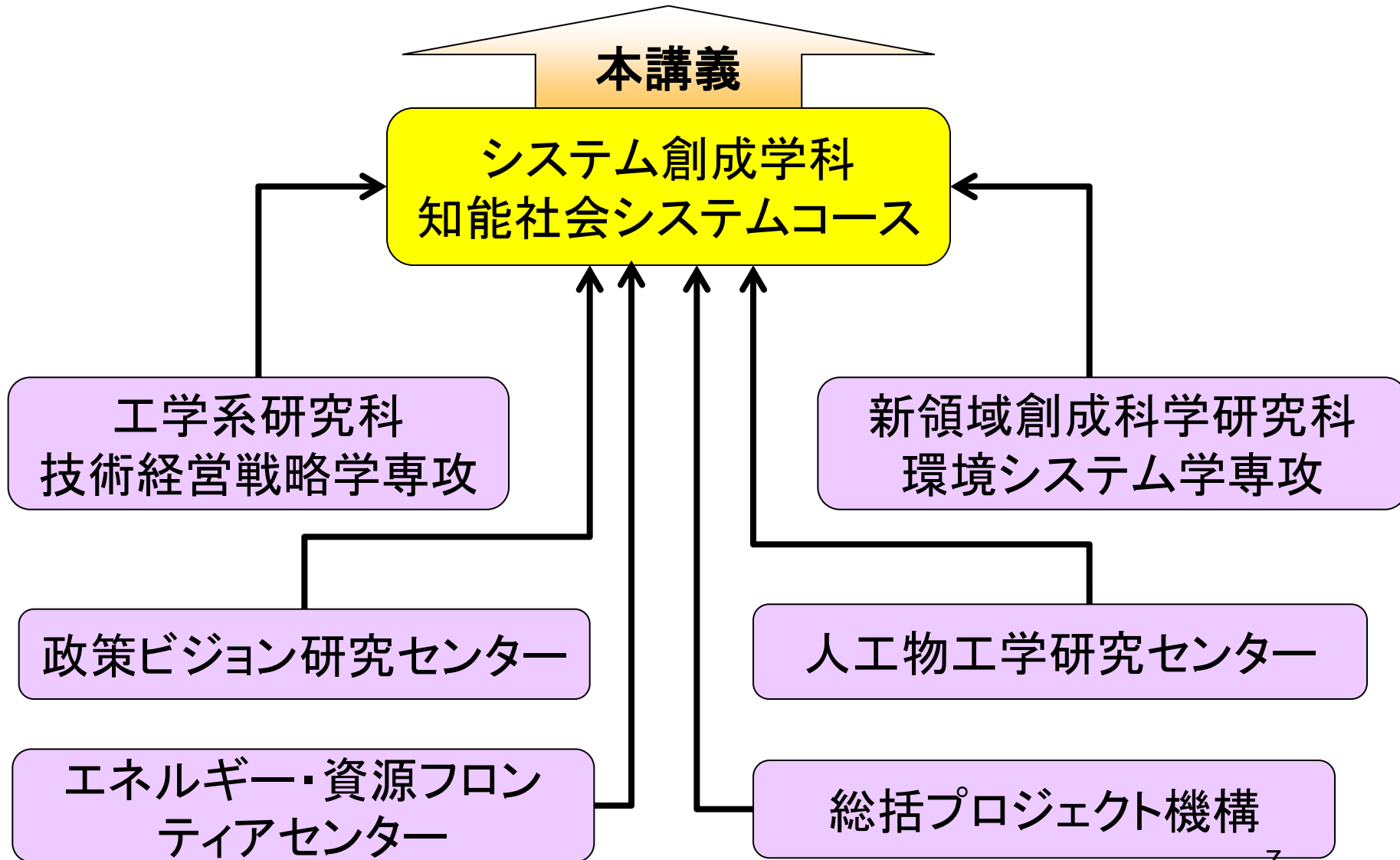
講義スケジュール(全12回)

4月19日	阿部力也	ガイダンス
4月26日	六川修一	文明の興亡から学ぶ持続可能な未来社会
5月1日(水)	森 純一郎	技術経営のためのデータサイエンス -政策・経営へのビッグデータの活用-
5月10日	茂木源人	持続可能グローバルエネルギーシステム
5月24日	稗方和夫	オンデマンド交通の社会実装
5月31日	吉田好邦	自動車と交通
6月7日	茂木源人	エネルギー貯蔵技術の役割
6月14日	坂田一郎	2030年の産業構造
6月21日	松尾 豊	Webシステムによる産業構造
6月28日	松島潤	エネルギー・資源論から考える社会システム
7月5日	西野 成昭	価値を共創するサービスデザイン
7月12日	元橋一之	オープンイノベーション
7月16日(火)	阿部力也	自然エネルギーと電力システム、まとめ

出講教員



出講教員の所属



成績について(1/3)

本講義の成績は、出席票（アンケート）とレポート課題により採点されます。

■出席票（アンケート）：

毎回配布するアンケートで出席をチェックするので、必ず提出のこと。1回出席で6点→全12回合計で72点。

■レポート課題：

毎回講義の最後に各教員がレポート課題を提示します。そのうち2つのテーマ（2講義分）を選択し、レポートを作成して下さい。

1つのレポートは14点満点→2つ提出で合計28点。

成績について(2/3)

フォーマット：

- ・ A4サイズで2枚以内。
- ・ 下記の見本と同様にレポートの冒頭には「講義タイトル」, 「講義担当教員」, 「講義日」, 「科類」, 「学生証番号」, 「氏名」を必ず記載して下さい。
- ・ ファイル名は、「第〇回+学生証番号+氏名」として下さい。

【見本】

平成25年度夏学期 「近未来は変えられるか」 レポート

講義タイトル「」

講義担当教員「」

講義日「」月「」日

科類「」科「」類 学生証番号「」氏名「」

(ここまでは、書式に合わせて下さい。以下は課題に合わせて記述。)

成績について(3/3)

提出先(両方に送ること) :

abe-r@tmi.t.u-tokyo.ac.jp

umezu@tmi.t.u-tokyo.ac.jp

確認方法 :

必ず受信確認のメールを送るので、1週間以上(×切当日の場合は翌日中)返信がなかったら、別アドレスを用いるなどして、再送すること。

期限 :

平成25年4月26日(金)～7月23日(火) 23:59 ×

※期限を過ぎて提出されたレポートはいかなる理由も受け付けません。